飯塚病院

# 循環器病センター レター

2024 年 2 月発行　Vol.10

“毎朝の”循環器病センター合同カンファレンスの風景（2024.1.10）

## ◇『循環器病センターレター』Vol.10 発行にあたって

拝啓、梅便りが聞こえ、寒さの中にも春の足音が聞こえる頃となりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日々の診療が少しずつ日常に戻りつつありながらも未だコロナの影響は拭いきれず、また能登地震、航空機事故など心を騒がせる出来事も続いた新年、今後の有り様について悩みつつも一歩一歩前に進む、そんな毎日のように思われます。

さらに今年は、診療報酬改定により各病院の役割、機能分化についてより強く問われる一年となりそうです。私たち循環器病センタースタッフも、筑豊唯一の 3 次救急病院『最後の砦』として、さらに病院全体で今後の最大目標としている『選ばれる高度急性期病院』にふさわしい循環器病センターを目指して、足りない点を一つずつ克服すべく、スタッフ一同力を合わせて前進、進歩していきたいと思っています。

今年も一年、何卒よろしくお願いいたします。

敬具

2024 年 2 月吉日

循環器病センター長兼心臓血管外科部長　内田孝之

# ◇診療実績・TOPICS　心臓血管外科　　部長　内田孝之

## ◆2023 年診療実績

新年というにはもう１ヶ月以上経過してしまいましたが、明けましておめでとうございます。心臓血管外科一同、昨年中は皆様に大変お世話になりました。

今年は働き方改革、診療報酬改定による各病院の機能分化の推進など対応、解決すべき問題の多い一年となりそうで、皆様、より一層大変な情勢の中で診療に邁進されておられる毎日と思われます。

昨年、コロナが５類へと変更になり、学会、研究会も対面で徐々に開催されるようになり、また皆様方と少しずつお会いできるようになりうれしい限りです。しかしながら、まだまだコロナも油断できる状況とまではいえず、with コロナとして対策しつつ、緊急・予定いずれの症例にもしっかり対応していきたいと考えています。

また昨年はコロナの影響もまだ残る中、当院の麻酔を中心とした緊急受け入れ機能の低下にもかかわらず、皆様より過去最多の手術症例を御紹介頂き、本当に感謝いたしております。

**【手術症例数】**

■CABG：45 (OPCAB:3)
■VHD：82（+CABG:16 、MICS:10、TAVI:22）
■TAA：62（+VHD:2、+CABG:3、TEVAR:28）
■その他の開心術：8
心臓＋胸部大動脈手術：197

■AAA：63　(EVAR:54)、追加治療：8
■ペースメーカ　新規：106、　交換：47、リード: 7
■ICD　新規：12（s-ICD 8 例含む）　交換：8
■CRTD 新規：14、　CRTP 新規：6、　CRT 交換：8
■その他：82

※下肢血管手術は血管外科に記載

## ◆心臓血管外科の TOPICS

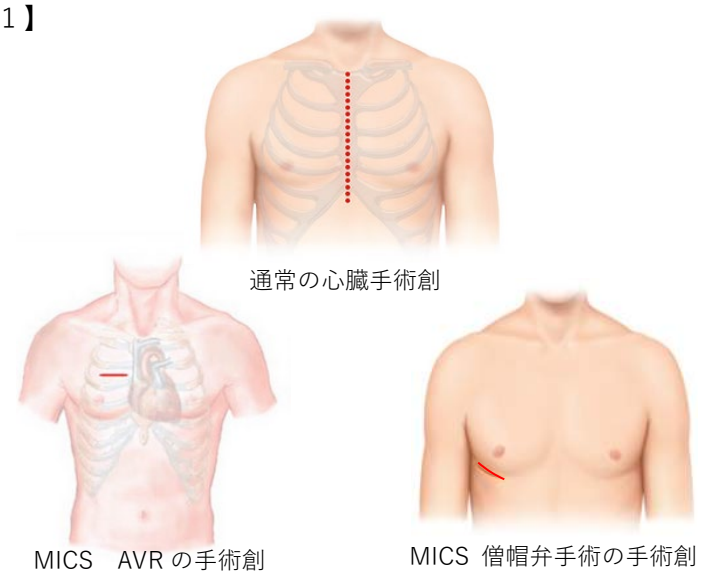
現在の当科での一番のトピックとしては、昨年に引き続きではありますが低侵襲心臓手術（**MICS**）の範囲拡大です。

僧帽弁、三尖弁疾患、心房中隔血栓症など心房切開下手術症例から開始した MICS でしたが、一昨年より大動脈弁置換術を開始、若年大動脈弁疾患症例、高齢者大動脈弁疾患のうち解剖学的に TAVI が不向きな症例に対する新たな option として施行してきました。

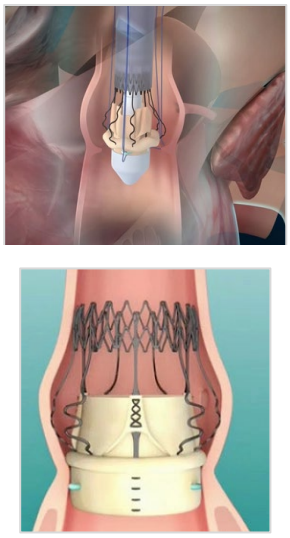
MICS 大動脈弁置換術は、胸骨正中切開を避け、MICS 僧帽弁手術同様右胸部の 7-8 ㎝の皮膚切開から大動脈弁置換を行う方法(図１)ですが、昨年は更なる低侵襲化を目指し縫わずに挿入出来る新たな大動脈弁用人工弁である **sutureless valve**(図２)も単独実施医資格を取得し、使用を開始しています。

MICS については通常開胸手術より手技的に工夫・研鑽が必要な部分もあり、昨年より実施医認定制度が始まりました。幸い第一回の実施医資格を無事取得でき、今後さらに指導医資格取得、次世代認定医の育成、ロボット手術の開始を目指しています。

【図１】

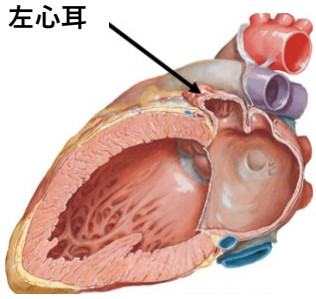



【図２】



なお、低侵襲心臓手術の次の展開として、今年は薬剤不耐性心房細動症例に対する小切開左心耳閉鎖術を開始予定です。経皮的左心耳閉鎖デバイスの場合必須とされる術後の抗血小板剤２剤投与（DAPT）が困難、あるいは形態的に経皮的左心耳閉鎖デバイスが挿入困難な症例に対して行う予定です。具体的には 2cm 程度の小切開 3 カ所で左心耳を閉鎖する手技(図３-1･2)で、保険診療としての認可も下り、抗凝固療法を上回る血栓症予防効果が報告されています。

【図 3-1】




左心耳：心房細動の際、心原性塞栓の塞栓子となる血栓の好発部位

この左心耳を閉鎖して血栓形成を防止するのが目的です

これまで、当科でも脳出血、脳梗塞既往があり抗凝固、抗血小板療法困難な症例に 7cm 程度の左小開胸で同様の手技を行ってきましたが、さらなる低侵襲化が可能となります。今後慎重な対象症例の検討の上で(当初は経験豊富な外部医師の応援態勢も整え）安全第一に施行していく計画です。

詳細につきましては今後改めて先生方への説明、情報提供を行わせていただく予定です。

【図 3-2】
小切開左心耳閉鎖術

大動脈ステント、MICS、TAVI、そして Mitra clip、ロボット手術と低侵襲化、技術革新の流れは今後も進んでいくものと思われます。またそれに伴い、私たちが習得すべき新たな技術も絶え間なく登場します。治療の進化に十分対応し、かつ緊急時の対応力も維持していくこと。これが今年も私たちの変わらぬ目標です。働き方改革という難問にも対応しつつ、筑豊にしっかりしたレベルの心臓外科治療を 365 日 24 時間お届けするという私たちの使命もきちんと果たすよう、今後もチーム一丸となって精進していきたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

# ◇診療実績・TOPICS　循環器内科　　部長　西 淳一郎

## ◆2023 年診療実績

コロナ禍でも、循環器疾患急性期診療の間口を狭めることなく、毎年 200 例以上の急性心筋梗塞を診療チームとコメディカルスタッフの尽力により診療の最前線で受け入れることができ、筑豊地域の循環器診療を支えることができました。コロナ禍明けとなった2023年の疾患内訳は、ほぼ例年並の疾患構成となっています。治療に関しては、もともと腎・尿路結石の治療に用いられていた体外衝撃波を、冠動脈血管内から照射して石灰化を破砕し狭小病変を開大できるようにする**血管内破砕バルーン(Shockwave)**を導入し、従来であれば石灰化で硬くて治療できなかった冠動脈病変に対しても治療介入できるようになりました。また外科的手術には不向きで治療の手を差し伸べることができなかった僧帽弁膜症にも、福岡県内では 5 番目となる 2022 年末より**カテーテル治療(Mitra Crip)**を開始し、これまで10人の心不全症例に施術することができました。2024 年もより高い目標を持ちこの地域のために、循環器病センターの発展に努めたいと思います。

**【 2023 年入院主病名（循環器主要疾患）】**

**総入院患者数：1656人　　急患数：774人（46%）**
**死亡：29人（2%）　平均在院日数9.6日**

**心臓カテーテル検査・治療**

**デバイス治療総数：1903**

〇冠動脈インターベンション（PCI）:449　〔 緊急 PCI：221（49.2%）〕
　ステント：375　　ダイアモンドバック：15
　ロータブレータ：21　　血管内超音波（IVUS)：459、OCT：22
〇末梢血管インターベンション（EVT）：78
〇カテーテルアブレーション：331
　心室頻拍6　　心室期外収縮 5　　心房細動 249（クライオバルーン54,Ensite168, CARTO57, ）
　発作性上室性頻拍 23
　心房粗動・心房頻拍 44
〇デバイス埋め込み術
　永久ペースメーカー埋め込み術： 106　　埋め込み型除細動器埋め込み術： 12
　両心室ペースメーカー埋め込み術： 6　　除細動機能付き両親室ペースメーカー埋め込み術： 14
〇構造的心疾患インターベンション
　経皮的中隔心筋焼灼術（PTSMA)：0
　経皮的経静脈的僧帽弁交連裂開術（PTMC)：3
　経皮的大動脈弁形成術（PTAV)：1
　経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI)：22　（＊循環器病センター成績）
　経皮的僧帽弁接合不全修復術（Mitra Clip)：10　（＊循環器病センター成績）
〇心筋生検：62
〇その他
　下大静脈フィルター：12

## 2023年疾患名リスト

**＜疾患内訳（重複なし）＞**

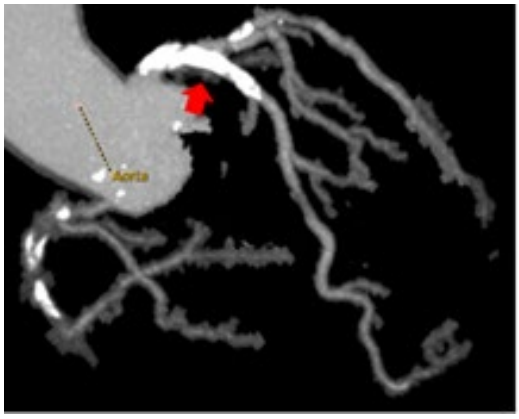
心不全・肺水腫：402
心房細動：229
急性心筋梗塞：223
無症候性心筋虚血：134
労作性狭心症：90
房室ブロック：61
心臓弁膜症：61
下肢閉塞性動脈硬化症：52
冠攣縮性狭心症：37
不安定狭心症：32
洞不全症候群：27
急性大動脈・動脈解離：21
肺塞栓症：20
心室頻拍・心室細動：17
発作性上室性頻拍症：16
心房細動および粗動：16
陳旧性心筋梗塞 ：15
睡眠時無呼吸症候群：15
蘇生に成功した心停止：13
たこつぼ心筋症：12
虚血性心疾患：10
肥大型心筋症：10
上室性頻拍：10
心房粗動：10
安静時狭心症：9
冠動脈硬化症：7
虚血性心筋症：6
深部静脈血栓症：5
梗塞後狭心症：4
動脈瘤・大動脈瘤：4
心アミロイドーシス：4
肺炎・気管支炎：4
心膜浸出液・心嚢液貯留：4
胸痛症候群：4
慢性腎不全：3
頻脈・徐脈症候群：3
肺高血圧症：3
失神発作 ：3
心室中隔欠損：3
心原性ショック：3
敗血症・敗血症性ショック：2
心室性期外収縮：2
房室結節回帰性頻拍症：2
急性心膜炎：2
心房瘤：2
左室肥大・拡大：2
アダムス・ストークス症候群：1
動脈管開存：1
急性感染性心内膜炎：1
ファブリ病：1
本態性高血圧症：1
冠状動脈瘤：1
鎖骨下動脈閉塞及び狭窄：1
サルコイドーシス：1
産褥における心筋症：1
先天性・二尖性大動脈弁：1
シェーグレン症候群：1
冠動脈解離：1
心サルコイドーシス：1
造影剤によるアナフィラキシーショック：1
多発性嚢胞腎（病型不明）：1
心タンポナーデ：1
ＷＰＷ症候群：1
その他：56

**総計：1687**

## ◆循環器内科 TOPICS

循環器内科では 2023 年、虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈ステント留置術(PCI)において、最新の治療器具導入を行いました。

動脈硬化は、文字通り動脈が硬くなる病気ですが、硬くなる原因のひとつに石灰化があげられます。冠動脈狭窄に、この石灰化が高度に関与(図１)していると、病変が硬過ぎて内腔を十分に開大させることができない場合があり、ステント留置術のネックとなっていました。




（図 1） 冠動脈 CT

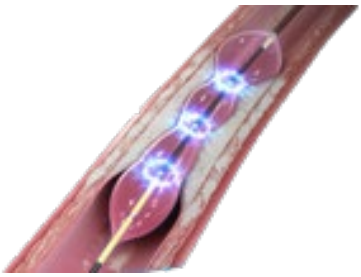
（図 2）「血管内破砕バルーン(Shockwave)」

(⬆は左冠動脈主幹部～左前下行枝の高度石灰化病変を示す)

そこで、もともと腎・尿路結石の治療に用いられていた音圧波を、冠動脈血管内から「血管内破砕バルーン(Shockwave)」(図２)より照射し、石灰化部位に小さなひび(Crackle)を入れて破砕することで、狭小病変を開大できるようにする、**IVL(Intravascular Lithotripsy)**治療が開発されました。

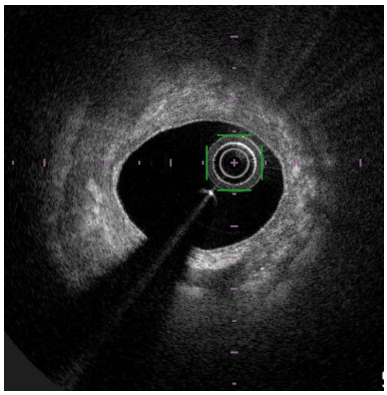
従来法である高速回転ダイアモンドドリル(ロータブレーター)を用いた石灰化病巣を削りとる治療方法と異なり、IVL では破砕された石灰化病変は血管壁の内側に留まるため、破砕後に病変遠位部下流の血流が悪化する現象(Slow flow)が起きにくいメリットがあります。一方、バルーン自体が通過できないような石灰化高度狭窄病変には、音圧波（図３）を病変へ照射できないという弱点もあります。

（図 3）音圧波

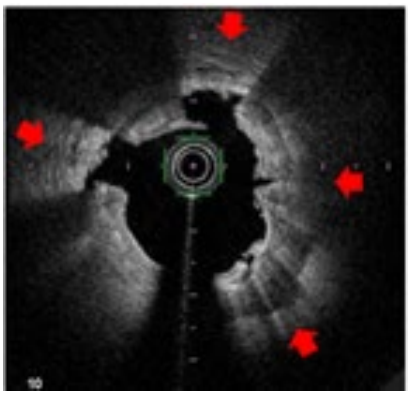


当院でも 2023 年 7 月より、IVL 治療を導入しました(図４)。筑豊地域の最後の砦として、常に最新の技術を取り入れた治療提供を引き続き行っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

【治療前】



【治療後】



（図４）OCT(Optical Coherence Tomography:光干渉断層法；⬆は割れ目(crack)を示す)

# ◇診療実績　　血管外科　　部長　松元 崇

## ◆血管外科の診療実績

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は地域の先生方には多大なるご厚情を賜り心よりお礼申し上げます。

2023 年の飯塚病院血管外科ですが、コロナウイルス感染症の 5 類感染症への変更もあり大きな診療制限等無く、なんとか手術件数も昨年より 20 件ほど増加させることができました。これもひとえに皆様方のお力添えのおかげと深く感謝しております。

末梢動脈疾患に対しては、下肢の間欠性跛行症状を伴う下肢閉塞性動脈疾患や安静時疼痛あるいは虚血性潰瘍・壊疽を伴う重症虚血肢（＝包括的下肢慢性虚血）の患者様を中心として、個々の患者様の下肢血管の病変形態や全身状態にあわせてバイパス手術・血管内治療（EVT）あるいはハイブリッド治療などの血行再建を選択して、実施しております。その他にも、心原性塞栓症等からの急性動脈閉塞に対する外科的血栓除去術や外傷などによる血管損傷に対する手術、末梢動脈瘤に対する手術も行っております。

下肢静脈瘤については血管内焼灼術（レーザー治療）を第 1 選択としていますが、接着剤による血管内治療（シアノアクリレート治療）も選択可能で、さらに日帰りないし 1 泊入院での治療も患者さんのご希望でお選び頂いております。2022 年からは側枝静脈瘤に対する切開をしない治療（側枝静脈瘤焼灼術）も導入しており、切開をしないことで傷も残らない低侵襲化な治療を行っています。

腹部大動脈瘤に関しましても、患者さんの全身状態やご希望、さらに解剖学的な形態などを加味してステントグラフトや開腹での人工血管置換術を選択させていただいております。

今後も一層のご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### 【2023 年 手術症例数】

**動脈疾患**

血管移植術、バイパス移植術　18 例
（下腿、足部血管）　7 例
（膝窩動脈）　1 例
（その他の動脈）　10 例
動脈血栓内膜摘出術　9 例
四肢の血管カテーテル治療（含むハイブリッド治療）　14 例
末梢動脈瘤手術　7 例
血管縫合術（ECMO/Impella 抜去含む）　31 例
動脈塞栓除去術　7 例

**腹部大動脈瘤手術**（心臓血管外科と重複あり）

人工血管置換術　8 例
EVAR（ステントグラフト内挿術）　54 例

**静脈疾患**

下肢静脈瘤血管内焼灼術　79 例

**その他**　14 例

**総数　241 例**

# Information

## 循環器 UP TO DATE WEB セミナーのご案内

**日　時**　2024 年 3 月 21 日（木）19:00～19:30

**座　長**　（未定）

**テーマ**　『心房細動：クライオバルーン治療紹介』（仮）

**講演者**

飯塚病院　循環器内科
髙原勇介 医師

☆今後の WEB セミナースケジュール予定
4 月以降の詳細な日程は決まっておりませんので、
決定次第改めて、ご案内させていただきます。

※具体的な視聴方法は、別途ご案内いたします。

お問い合わせ　飯塚病院 循環器内科医局 TEL：0948-22-3800（代表）

# ◇受診について　（2024 年 2 月現在）

## ■心臓血管外科　予約必要　紹介状必要

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | 内田孝之* | 内田孝之* | 松尾彰信 | - | - |
| 再診 | 内田孝之*<br>石井数也 | 田中二郎<br>内田孝之* | 松尾彰信 | - | - |
| 低侵襲心臓手術外来 | 電話で相談 | | | | |
| ペースメーカ外来 | - | - | 担当医 | - | 担当医 |
| 心臓手術外来 | 内田孝之* | - | - | - | - |
| 大動脈瘤外来 | 内田孝之* | - | - | - | - |

※大動脈瘤、末梢動脈疾患、下肢静脈瘤、虚血性心臓病・弁膜症などの手術を対象とした外来を行っています。疾患に沿った予約を行っていますので事前予約をお願いします。

※受診や当科疾患に関してのご質問、疑問があれば、まずはお気軽にお電話でお問い合わせください。
☎予約・お問い合わせ：
0948-29-8024
（平日：9:00～17:00）

## ■血管外科　予約必要　紹介状必要

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | - | - | - | 松元 崇* | 松元 崇*(第1週) |
| 再診 | - | - | - | 松元 崇* | 松元 崇* |
| 大動脈瘤外来 | - | - | - | 松元 崇* | - |
| 静脈瘤外来 | - | - | - | 松元 崇* | 松元 崇*(第1週) |
| 足病外来 | - | - | - | 松元 崇* | 松元 崇*(第1週)<br>眞柴貴久(第3週) |

**循環器ホットライン（24 時間 365 日対応）**
**急患依頼 0948-29-8846（ダイヤルイン）**

## ■循環器内科　紹介状必要

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | 西 淳一郎*<br>川上将司<br>溝上功明 | 稲永慶太<br>田中敬士<br>大賀泰寛 | 西 淳一郎*<br>髙原勇介<br>生田 拓 | 田中敬士<br>川上将司<br>眞柴貴久 | 稲永慶太<br>髙原勇介<br>児島啓介 |
| 再診 | 西 淳一郎*<br>川上将司<br>溝上功明 | 稲永慶太<br>田中敬士<br>大賀泰寛 | 西 淳一郎*<br>髙原勇介<br>生田 拓 | 田中敬士<br>川上将司<br>眞柴貴久 | 稲永慶太<br>髙原勇介<br>児島啓介 |
| 睡眠時無呼吸外来 | - | - | - | 児島啓介<br>吉峯晃平<br>【呼吸器内科】 | - |
| ICD外来 | 稲永慶太<br>田中敬士<br>髙原勇介<br>大賀泰寛 | - | - | - | - |
| 学校検診 | 電話で相談 | | | | |

**専門外来（予約・紹介制）**
◆睡眠時無呼吸外来
◆ICD外来

※虚血性心疾患、心不全、不整脈、末梢動脈疾患などの外来を行っています。毎日診察を行っていますので、平日 8:00～11:00 までに紹介状を持参し、来院をお願いします。

※受診や当科疾患に関してのご質問、疑問があれば、まずはお気軽にお電話でお問い合わせください。
☎お問い合わせ：
0948-29-8036
（平日：9:00～17:00）

循環器病センター
オリジナルホームページ公開中☆

**循環器病センター レター　Vol.10**

【発行】飯塚病院 循環器病センター　【発行日】2024 年 2 月
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83　TEL：0948-22-3800（代）
心臓血管外科直通電話：**0948-29-8024**　循環器内科直通電話：**0948-29-8036**
http://aih-net.com